

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画

計画の名称	新庄村
都道府県名	岡山県
計画作成主体	新庄村
計画期間	平成17年度
計画の目標	『多様な住宅需要に対応する。』 『過疎からの脱却、若者定住の促進。』

2. 事後評価の内容

実施体制・時期	新庄村において評価を行う。(平成18年4月)
事後評価の結果	指標 : 「UIターン者、若者定住を促進するための特定公共賃貸住宅の整備」 定義 : 特定公共賃貸住宅の建設 評価方法 : 住宅の入居状況 結果 : 従前値:21戸(16年度) 目標値:25戸(17年度) 実績値:25戸 結果の分析 : 目標のとおり建設を行い、入居についても100%入居である。 入居者についても、UIターン者や若者で目標達成している。
結果の公表方法	新庄村のホームページにて公表を行う。

3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等

今後の住宅施策の取組への反映	今後も村営住宅の入居希望、空き家の問い合わせが多数あれば、さらに住宅の建設が必要である。
その他	(特記すべき事項があれば記載)

この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。

地域住宅計画(確定版)

新庄村

岡山県新庄村

平成 17年 5月

地域住宅計画

計画の名称	新庄村		
都道府県名	岡山県	作成主体名	新庄村
計画期間	平成 17 年度	~	17 年度

計画の目標

(1) 地域の住宅政策の経緯及び現況

当該地域は岡山県の北西部に位置し、人口1,109人、世帯数376世帯の地域である。
新庄村では、過疎からの脱却、若者定住、UIターン者の住環境整備の一環として、平成元年に公営住宅建設事業により新庄団地に6戸の住宅を建設し、その後、平成8年度にカケ団地造成工事を村単独で行い、平成9年度に2戸、平成10年度に3戸の計5戸を定住促進住宅としてそれぞれ単独で建設し、平成16年度に特定公共賃貸住宅整備事業によりさくら団地に4戸の住宅を建設している。

(2) 課題

現在21戸村営住宅が建設しているが、UIターン者等で100パーセントの入居で、村営住宅の入居希望、空き家の問い合わせが多数有るが、村内にある住宅も空きがなく、多様な住宅需要に対応できていない。

計画の目標

(3) 目標の内容

『多様な住宅需要に対応する。』

『過疎からの脱却、若者定住の促進。』

地 域	指 標		定 義	従前値		目標値	
		単 位			基準年度		目標年度
	Uターン者、若者定住を促進するための 特定公共賃貸住宅の整備	戸	特定公共賃貸住宅の建設	21戸	16	25戸	17

備考

目標を達成するために必要な事業等

(1) 基幹事業の概要

木造住宅4戸建設

(2) 提案事業の概要

地域住宅計画(確定版)

(3) その他(関連事業など)